

長い見送り (1971)

THE LONG FAREWELL
DOLGIE PROVODY

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ウクライナ

色彩 B&W

時間 95分

初公開日 1994/06/13

公開情報 日本海

【解説】

ヌーヴェル・ヴァーグという言葉を引きあいに出すのもうんざりなのだが、この映画はその諸作品に似て、それら以上の衝撃を与えた。25年も前の映画である。なのに今まで接したことのない、滑らかさと訥々とした感触を合わせ持つ官能的な作品で、まだまだ世界にこんな傑作が埋もれているのかと思うと、絶望的な気持ちができる。旧ソ連の地方都市で翻訳家として仕事をする主人公は夫と別れ、難しい年頃の息子と二人暮らし。老いを感じつつも新しい恋に積極的になっているが、息子は相手に反感を持ち、密かに父とコンタクトを取り、彼の元へ行こうと考えている……。親子が祖父の墓参りをする最初の方のシーンでは、映画に一切登場しない祖父が現出するような鮮かさに主観的映像と独白が交差し、二人で母の恋人の別荘を訪ねる海辺の宴のシーンでは、今度はぐっと客観的に母の女としての孤独を伝える長廻しが印象的だ。ペレストロイカ後、ようやく、その諸作が日の目を観るようになった女流ムラートワ。確かに、心の不自由な者にはこの映画は脅威に映るかもしれない。あまりにも優しく、そしてみずみずしく……。

【クレジット】

監督	キラ・ムラートワ	Kira Muratova
脚本	ナタリア・リャザンツェワ	Natalya Ryazantseva
撮影	ゲンナジー・カリューク	Gennadi Karyuk
音楽	オレーグ・カラワイチューク	Oleg Karavaychuk
出演	オレーグ・ウラジーミルスキー	Oleg Vladimirsky
	ジナイーダ・シャルコ	Zinaida Sharko
	ユーリー・カユロフ	Yuriy Kayurov
	タチアナ・ムイチコ	Tatyana Mychko